

自治会報

さがみはら

No.62

平成25年(2013)3月発行
発行部数 20万部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 田所 昌訓

題字 相模原市長 加山 俊夫

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数	22
自治会数	594
加入世帯数	179,039 世帯
班(組)数	11,923
H.24. 4. 1 現在	

事務局 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 相模原市役所市民協働推進課内 TEL.042-769-8226

日ごろの活動に感謝!



『自治会活動功労者感謝状贈呈式』が、平成25年2月2日(土)、相模原市市民会館で行われました。この表彰は、長年にわたり自治会活動に従事され、心のかよいあう明るいまちづくりの推進、地域福祉の向上に寄与された方に、相模原市がそのご尽力に対して感謝の意を表すものです。22地区の各自治会連合会から推薦された60名の方に感謝状が贈呈されました。(受賞者は2ページ)

地域における防災、防犯、地域福祉、環境美化や地域コミュニティなどの自治会活動は、本市の地域まちづくりの中心的な役割を担っていただいていると思っています。日々、皆様が中心となって地域で取り組まれている、お互いに支えあい、助け合い、人と人の絆を大切にする活動は、次代を担う子ども達の心ふれあう、ふるさとづくりにつながるものと考えています。皆様におかれましては、今後とも長年の経験を生かしながら、市民一人ひとりが日々の生活に希望を抱き、夢に向かって力強く進めるよう、自治会活動などの地域コミュニティの輪を広げる取組みに、引き続き、ご尽力いただきたく、お願い申し上げます。(市長あいさつ抜粋)



より良い地域活動を目指し



加山市長(左から3人目)と自治会連合会役員

要望項目

- 1 防災対策について
- 2 区の権限の見直しについて
- 3 広域交流拠点都市の在り方検討について
- 4 コミュニティ施設について
- 5 防犯灯のLED化の促進について
- 6 管理が行われていない空き家対策について
- 7 市との協働による自治会活動の強化策について
- 8 地域情報紙のホームページ掲載支援について
- 9 児童・生徒交通安全対策について

地域には、防犯、防災、交通安全、環境美化等、様々な課題がありますが、これらの課題は、住民相互の理解と信頼のうえにたった連帯と協力により解決することが可能であると、連合会では考えております。しかし、解決する過程の中では、市との深い関わりや連絡調整など、市の支援と協働による取組みが重要であるため、昨年8月に政策要望書の提出を行いました。当日は、相模原市長をはじめ、副市長などと防災や防犯、安全安心なまちづくりについて、活発な意見交換を行いました。

防災を担う近助・共助の力!!

防災安全部会から

平成23年3月11日の「東日本大震災」より2年が経過しましたが、未だに災害の壮絶さは記憶に新しいところです。相模原市では「災害時要援護者支援事業」や「地域防災計画の見直し」など、災害に備えた取り組みを行っておりますが、地震による被害を最小限にとどめるためには、日頃の皆さんの備えと心構えが必要です。

そこで、皆さん一人ひとりが行う自助の取組みと自治会で取り組んでいる相模原市の特色にあった防災活動を紹介します。

自助の取組み

- 家具の転倒防止など、家の中の安全対策をしましょう。
- 最低限3日分の飲料水・食料を備蓄しましょう。
- 避難場所や避難所を確認しておきましょう。
- 火事を出さないために日頃から備え、発災後は、あわてず適切な行動をとります。

災害時の孤立化に備えて・・・

～緑区 津久井地域～

緑区には急峻な地形や道路網から台風や豪雨時などにけ崩れなどが発生し、集落が孤立する可能性が高い地域があります。

市ではこれら集落を「孤立対策推進地区」とし位置付け、情報伝達手段の衛星携帯電話や救助のための工具などを自治会集会所などに備蓄しようとしています。

各自治会や自主防災隊でも、日常から「近助・共助」の意識のもと、こうした事態に備えた防災訓練を行っています。

黄色い小旗による安否確認事業

～緑区 津久井地区 森戸自治会～

災害が起きたときは「自助」「共助」の取組みが非常に重要です。森戸自治会では、防災意識の向上や災害時に隣近所同士の迅速な安否確認を習慣づけることを目的に、大地震などの災害の時に、自分の家は「大丈夫だよ」というサインとして、玄関等に黄色い小旗を掲げる「安否確認事業」に取り組んでいます。



自主独立防災隊の活動の特徴

～中央区 光が丘地区～

- 1 当地区は木造家屋密集地域で、火災延焼危険度が高く初期消火がポイント(高齢者も4人に1人)
- 2 自主自立のまちづくりがモットー
- 3 専門性、継続性の高い自主独立防災隊を設立
- 4 現在22自治会単位中7自治会設立済、6自治会設立検討中
- 5 防災訓練の特徴
 - 消火栓使用の放水訓練
 - 避難所(緑が丘中)訓練(各自治会の割付等)
- 6 今後の活動
- 7 全自治会に自主独立防災隊を設立
- 8 簡易消火栓スタンドパイプと簡易消防ポンプの常設



マンションの防災体制

～南区 ルネ東林間自治会～

マンションの防災は、自治会員だけでなく、全住民が関心を持って取り組まなければならないと考え、自治会と管理組合で協力し、防災組織の必要性についてアンケートを実施し、全世帯を対象とした防災対策協議会を立ち上げました。情報伝達、初期消火などの自主防災組織の他、各棟の責任者、各階段の責任者を配置し、91名で組織しています。

平成20年度の設立時より、各世帯の構成や要援護者の登録、中高生の災害時の協力、医師・看護師・建築関係の専門家の協力登録を兼ねたアンケートを毎年実施し、登録している専門家の協力を得て、全住民を対象とした避難訓練や役員を対象とした資機材の使用訓練を行っています。

マンションでは、戸建ての住宅とは違い、火災時の避難経路の確保や震災時の避難方法の確認、避難誘導訓練が特に必要であると考えております。

また、停電時に水の汲み上げが出来ず、トイレが使用できないため、マンホールに設置できる災害用トイレを備蓄している他、食料やトランシーバー、大型テントなども備蓄しています。防災訓練を通じ、近所の繋がり、絆ができ、自治会の夏祭りなどのイベントへの参加者も増えてきました。



地域の防災訓練に参加しましょう!!

自治会活動功労者

感謝状受賞者

(敬称略)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------------|---|-------------------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|---|-------------------|--|-----------------------------|---------------------|--------------------|
| 小山
中野 政雄
阿部 公作
宮田 幸男
内田 弘也 | 大野南
阿部 吉男
齊藤 信行
菅井 武伯
加賀トモコ | 清新
丸岡 啓治
山中 森勝 | 大沢
阿部 学
青木 豊 | 横山
内山 眞弓
山田 延行 | 田名
志村 勝美 | 中央
矢光 喜則
山尾 堯千
平山 彰
豊田 朗 | 麻溝
猪熊 茂
仲川 邦廣
井上 國雄 | 橋本
遠藤 昌明
阿部 忠夫
梅澤 敏光
成瀬 冽
齊藤 國男 | 相武台
加藤 正宏
戸田 宏 | 東林
荒川 二郎
篠崎 正信 | 大野北
佐々木 裕
加松 勝三
岩見 清一
高柳 健治
渡邊 重治 | 城山
水戸 隆 | 大野中
青木紀久義
荒井 匠子
岩鶴 光芳
岡部 欽至
宇佐美純夫
田代 穂積
澁谷 勇 | 津久井
鮎子 正
落合 勝司 | 相模湖
石井 吉彦 | 藤野
岩崎 三雄 |
|---|--|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------------|---|-------------------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|---|-------------------|--|-----------------------------|---------------------|--------------------|

人物紹介

53

この欄では、各界でご活躍されている方を紹介しておりますが、今回は、大野中地区にお住まいの「今井三郎」さんです。



今井さん

相模原市には、ずっとお住まいですか？

はい、出身は長野県ですが、昭和45年に引越して来ました。市の広報紙で市民スケート選手権大会を知り、参加したところ、全ての種目に大会新記録で優勝したことが、市のスケート協会との出会いでした。

また、地域の運動会でのスタート係を頼まれ、「よいい。ドン」それが自治会活動との出会いでした。コーチ・監督と忙しい日々を送っていますが、今でも地元にいるときは、地域のイベントに参加しています。

今井さんといえばスケートですが、何歳ぐらいから始めたのですか？

小学校4年生からスピードスケートを始めました。日本選手権大会や団体に選手として出場していましたが、相模原市に住んでからは選手の指導育成に専念し、オリンピックや世界選手権大会、ワールドカップ、世界ジュニア等の国際大会にも選手を送り出すことができました。

活動していて印象に残っていることは何ですか？

私の子どもの頃は4歳でスケートを始め、中学3年生で日本代表になってから、アジア大会、世界選手権大会等全ての国際大会でメダルを獲得しました。リレハンメルオリンピックでは、獲得できませんでしたが、長野オリンピックに期待していたのですが、最終選考会の1週間前に怪我をしまして代表を逃してしまいました。そのころ私は大手術をし、入院中でしたので、何も知りませんでした。親子で大変悔しい思いをしました。その長野オリンピックに役員として参加できたことは、生涯忘れられない思い出になりました。

様々な活動をするうえで思っていることは何ですか？

「スケートを愛好し、生涯スポーツとして、地域の子供達から社会人、初心者からオリンピック選手まで、一貫して指導に携わり、特に選手育成にできる限り力を入れたい。」「どんなスポーツでも失敗を恐れず、勇気と夢と明るい希望を持ち頑張り、苦しさの後に、お金では買えない喜びが待っている。」「けっして焦ることなく努力を忘れず前進し、反省の心、素直な心、謙虚な心、奉仕の心、感謝の心を忘れず、良いマナーを心がけ、良い友達を作り切磋琢磨する選手を育成したい。」

そんなことを思っています。

今後の抱負は？

ただ一つ、オリンピックのメダルが無く、監督として心残りでありましたが、最近では、小学校2年生のころから指導してきた兄弟が力をつけてきており、世界大会でもメダルを獲得し、日本に明るい兆しが見えてきたのが楽しみです。

ソチオリンピックに、相模原クラブの選手が出場しメダルを獲得すること、それが私の夢です。

第4回 緑区 ② 城山・津久井地区



みんなで行こう 憩いの場!!

各区の見所紹介

次回も緑区です

雪に好かれた? 広報部会視察

最初の予定は、大雪でキャンセル。2回目は、朝、ドアを開けたら雪。「まじ?また、延期?」天気予報の「のち晴れ」を信じて出発。

「川尻八幡神社」の知らなかった一面に触れ、「かたくりの里」の説明を聞いて開園が楽しみになり、「龍籠山金刀比羅宮」からの眺望に感激し、地下230mの発電所では、「こんなところも見学させてもらえるの?」と驚き、前から行きたいと思っていた「童人夢農場(ドリームファーム)」で昼食。自家製のスモークやこだわりの具材を使ったマキ



窯焼のピザは、とてもおいしくて、お土産用ピザは冷めてもおいしかった。

また、「おらあ三太だ」のラジオ放送を聞くために、急いで学校から帰った小学生の頃からの憧れの地に立って見渡すと、きれいな川と山間の景色、石碑等に感無量。原作者の青木茂氏は、執筆後も「三太旅館」をよく訪れたそうです。

青根緑の休暇村では「孫、連れてきたら喜ぶかな〜」の独り言に、みんなが即答『ぜっ〜たい喜ぶよ!温泉にも入れていいじゃん』。「青根諏訪神社」では、大杉をみんなで見上げ、木造



校舎で有名な青根小学校の前で写真をパチリ。「尾崎弔堂記念館」は、休館日だったので車窓から見学しました。

日陰の坂道は、ちょっと怖かったけど、今まで行く機会の無かったところを訪れ、「もっと早く来てみればよかった」「市内に、こんなに自然豊かな楽しいスポットがあるなら、遠く他県まで出かなくてもいいよね〜」と、思いました。今回お忙しい中いろいろご協力いただいた皆様ありがとうございました。



1 龍籠山金刀比羅宮からの眺望

景色の良さで知られる城山湖周辺でも屈指の絶景ポイントで、東京スカイツリーや新宿副都心・横浜の高層ビルが見えます。ここから見ていると東京や横浜を近く感じます。



2 城山かたくりの里 (かながわの花の名所100選)

個人所有の山林ですが、さまざまなお花が咲く春のみ一般公開されています。30万株のかたくりの花が一斉に開くと、まるで明るい紫のじゅうたんを敷き詰めたようになります。



3 川尻八幡神社 (かながわのまつり50選)

ギザのピラミッドとほぼ同じ角度の参道を持ち、参道の延長上から年に2回「日の出」が観賞できます。また、鎌倉の大銀杏のしめ縄も製作しています。



4 小松コスモス

約50万本の開花シーズンには、「コスモスまつり」が開かれ、コスモスの摘み取り(有料)や特産品、地野菜や軽食の販売、祭り囃子を楽しむ人々でにぎわいます。



10 尾崎弔堂記念館

「憲政の神」といわれた尾崎行雄(雅号:弔堂)の偉業を称え、尾崎家代々の屋敷跡に昭和32年に開館しました。尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」やワシントンから里帰りした「弔堂桜」、写真、資料が保存、展示されています。



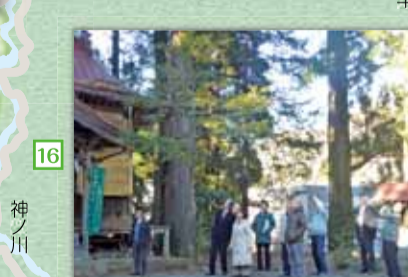
11 三太物語文学碑と三太旅館

昭和25年からラジオやテレビで放送され人気となった「三太物語」。道志川付近を舞台に天真爛漫な少年が騒動を巻き起こす物語です。原作者青木茂氏は作品執筆のため道志橋近くの宿に滞在し、この宿は現在三太旅館と改称し、玄関右脇には「おら三太だ。ここが道志川の主仙爺さまの家だ…」と刻まれた文学碑が建っています。



14 青根緑の休暇村・いやしの湯

天然温泉、宿泊、キャンプ、魚釣り、テニス、ハイキング等、季節の移ろいを感じる豊かな自然と澄み渡る空気に恵まれた、ご家族で楽しめるエリアです。じっくりと安らぎの時間を堪能できます。



15 青根の大杉 (県の天然記念物)

諏訪神社の樹高45m周囲9.5m、推定樹齢約700年の御神木です。



16 エビラ沢の滝 (やまなみ5湖 水のある風景36選)

ハイキングコースとして人気があります。展望用のウッドデッキが整備され、その手前の山肌から湧水が流れ出ており、「エビラ水」と呼ばれています。



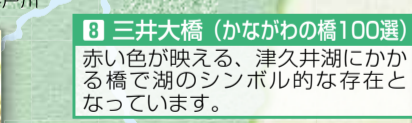
6 城山湖・本沢ダム (かながわの探鳥地50選、かながわの公園50選)

純揚水式の発電所建設にともなって誕生した本沢ダム(フィルタイプダム)は、夜間電力で津久井湖の水をくみ上げています。湖の周囲には散策路があり、そよ風に吹かれながら鳥の声を聞く。そんな体験ができるスポットです。また、地下230mの発電所は、5人以上集まれば、予約制で見学もできます。



7 県立津久井湖城山公園、津久井湖観光センター

津久井湖と相模川を囲む公園の中は四季を通して花が咲き、花の苑地はガーデンテラスと桜の小道、水の苑地は噴水と芝生公園、根小屋地区では散策路やパークセンターもあります。観光センターでは、良質の水を活かした地酒や地粉を使ったうどん、地元農産物など、津久井特産品を豊富に取り揃えています。



8 三井大橋 (かながわの橋100選)

赤い色が映える、津久井湖にかかる橋で湖のシンボリックな存在となっています。



9 峰の薬師

武相四大薬師の一つで、境内から津久井湖方面の眺めは美しく、特に夕日に輝く景色は格別です。



18 宮ヶ瀬湖と鳥居原ふれあいの館 (新鮮な農産物が人気)

首都圏最大級のダム貯水池です。鳥居原ふれあいの館は宮ヶ瀬湖を一望できる農林産物直売所、食堂があり、朝採り新鮮野菜と地元特産品・工芸品を販売しています。



12 南山遊歩道、権現平・南山山頂

宮ヶ瀬湖を眼下に見下ろせる景色の美しいハイキングコース(4月~10月はヤマビルに注意)や標高568mにある平地には、オオヤマツミノミコト(大山祇命)をまつる南山権現があります。

高校生と交通事故の 恐ろしさを体験

相模原市安全・安心まちづくり推進協議会
上溝支部支部長
長谷川光義

上溝駅周辺や上溝商店街通りは、通学の高校生の自転車利用が多く、無理な走行により歩行者が危険を感じるなど不安の声が上がっています。

このため上溝地区では街頭キャンペーン等を行い、自転車のマナー向上と事故防止を日々呼びかけています。

こうした中、初の試みとして上溝高校との共催による交通安全講習会を9月に開催し、当日の参加者は生徒や自治会関係者など700人を超えました。



事故再現の様子



事故再現の様子

この講習会はスタントマンが交通事故再現を行なうもので、それほど速くない車と自転車が衝突するだけでも、人が飛ばされフロントガラスが粉々になる等、衝撃の大きさは想像を超えるものでした。

参加した生徒や上溝地域の方々も、この講習会を通して事故の恐ろしさや命の尊さを学ぶ事が出来たのではないかと思います。

この体験を少しでも日常生活の中で思い出し、注意して行動する事が出来れば事故は減るのではないかと思います。また今回のような世代間交流は、参加者にとって、良い刺激となりました。今後こうした経験を活かし、地域の方々と協力して、事故のないまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

地域防災力の 向上のために

麻溝地区自治会連合会
会長 追切 睦廣

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、私達に災害発生時における自助・共助の重要性を再認識させました。

当地区自治会連合会では、自助力の向上を図るため、平成24年3月にA1判の「麻溝地区防災マップ」を作成し、各自治会を通じて、自治会未加入世帯も含めて全戸配布しました。

この防災マップの表面には、防災関連施設をはじめ、各自治会の一時避難場所、公衆電話やAEDの設置場所など地域住民にとって必要な防災情報が地図上に表記されています。裏面は、防災ガイドとなっていて、非常持ち出し品のチェックリストや、避難時の心得、正しい情報の入手の仕方などが掲載されています。



共助は近助 あなたも一員!

また、共助力の向上を図るためには、自治会を中心とした地域の連携が大切であることから、裏面には、「あなたも地域の一員!自治会に加入して災害に強いまちづくりと一緒に作りましょう!」隣近所の助け合いは自治会ぐるみで!というメッセージも掲載しています。

防災マップを活用して、定期的に「わが家の防災会議」を開催し、いざという時の避難の方法や家族一人ひとりの役割について確認していただきたいと考えています。

今後とも、地域の皆様とともに地域防災力の向上に取り組んでまいります。

青色回転灯を装備した 自主パトロール隊

大野北地区自治会連合会
自治会法人山王自治会
会長 平本 忠一

山王地区では平成19年8月23日の自主パトロール隊出発式以来、現在まで5年以上経過しましたが、今でも子ども達への安全確保に日々務めています。

発足前は、子ども達への嫌がらせ(不審者)が数件ありましたが、発足してからは不審者の発生は少なくなっています。これも自治会員やパトロール隊の活動が実った成果だと思います。



青色回転灯を装備し、パトロール中の様子

また、パトロール実施者は、2年に一度、神奈川県警察本部から講師を招き、安全教育を受け受講者にパトロール実施者証を発行し、更にパトロールの安全と充実を図っています。

発足当時のメンバーとは変わって来ていますが、隊員約30名で児童、生徒の登下校時に地域を巡回し、子ども達の安全確保に努めています。

子ども達も、今では手を振り、「ありがと〜」と返してくれます。子ども達の元気な笑顔を見ると、

地域の 連帯強化のために

藤野地区自治会連合会
会長 小林 満

藤野地区は約65平方キロと広い面積を持ちながら、その7〜8割が山林で中山間地域という位置付けになっております。このような中に数戸単位の小さな自治会から数百戸単位の自治会まで、50ほど点在しております。それぞれの自治会は、様々な行事や活動を展開しており地域の独自性を発揮しております。

また、4年前から始めた藤野地区自治会連合会を中心とした実行委員会が「健康フェスタ」を開催し、多くの人が参加をして楽しんでいただいております。地区自治会連絡協議会対抗による綱引きや大縄跳びの競技は、地域の連帯と結束を確認するよい機会となっております。さらに、子どもからお年寄りまでが楽しめる競技もあり、年齢層を超えた地域の一大イベントとなっております。



健康フェスタの様子

むかし 昔

No.49

蚕影山(こかげさん)の祭礼

田名地区

自治会法人
田名堀之内自治会長
田所 哲男

蚕影山とは茨城県筑波の蚕影山神社から来た養蚕信仰です。水田の少ない相模原では、明治から昭和のはじめにかけて養蚕が盛んでした。特に田名地区ではほとんどの農家が養蚕をおこない貴重な収入源となっていました。

蚕は、気候や種の具合により繭の収穫量に大きな違いがあるため、人々は蚕のことを「おかいこさま」「おこさま」と呼んでとても大切にしていました。田名堀之内自治会館の庭には、かつて盛んだった養蚕信仰の面影を残す蚕影山のやしろがあり、本殿には蚕にまつわる伝承の主人公とされる金色姫(こんじきひめ)が祀られています。化学繊維の出現で養蚕が衰退した現在でも、家内安全・地域の発展を祈願して、春と秋に自



ご神体のご開帳

治会主催で蚕影山の祭礼がおこなわれています。祭礼では、ご神体のご開帳、蚕影山和讃(こかげさんわさん)の奉納のほか、カラオケ大会、模擬店、敬老会を併せて開催するなど、地域に欠かせない交流の場として引き継がれています。

参考図書

「田名のくらし・四季」

田名公民館発行



蚕影山和讃の奉納の様子

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動、話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、

相模原市自治会連合会事務局
(☎)042-753-3419
Email: info@sagami-hara-jichiren.jp

自治会報さがみはら編集 広報部会員

- 河本 博 有泉 健一 (大野南)
- 佐藤あつ子 澤塚 正史 (相模湖)
- 中山 光明 石井 孝之 (相模湖)
- 武田 邦雄 笹野 賢司 (相模湖)
- 久保田勝志 大木 恵 (星が丘)
- 小川 政義 (相模原)